

No.	19-5-1	場所	飯田市 阿弥陀沢川	次世代への継承キーワード
名称	山津波で押し出した土石流			避難路確保
災害現象	土石流			河川 阿弥陀沢川
補足事項				支流

概要

風越山の山腹が大雨によって土砂災害を起こし、土石流となって王竜寺川と松洞川を氾濫させ、下流市街地の飯田市今宮、羽根垣外、高田地区の約20ヘクタールに大災害をもたらした。今宮地区では被害戸数197戸・被災世帯260世帯、家屋の床上から天井に達した堆積土砂は28,000㎡、流出農地も4.3ヘクタールに及びました。今宮球場のそばでは河床が1m近く上がり、一夜にして天井川をつくりだした。

●体験談：飯田風越高校1年生（災害当時、豊丘中学校3年生）

私も今は風越高校の一年生。でも昨年の今頃は右足の動かない病気で寝ていました。学校には行けず、大切な時期に一月も休み続けていた私は、思わしくない病気や勉強の事などで、毎日毎日をゆううつに過ごしていました。（中略）

「今度は〇〇が危ない！」とふるえて聞いていたあの時。

道という道は山崩れや崖崩れで人が通るのにやっとのありさま。そんな様子だからバスなど通らない。病気はまた悪くなる。勉強は二月ほうりっぱなし。その時の私の気持ちは、悲しみと絶望でいっぱいでした。

（「濁流の子」p.63より）

記録



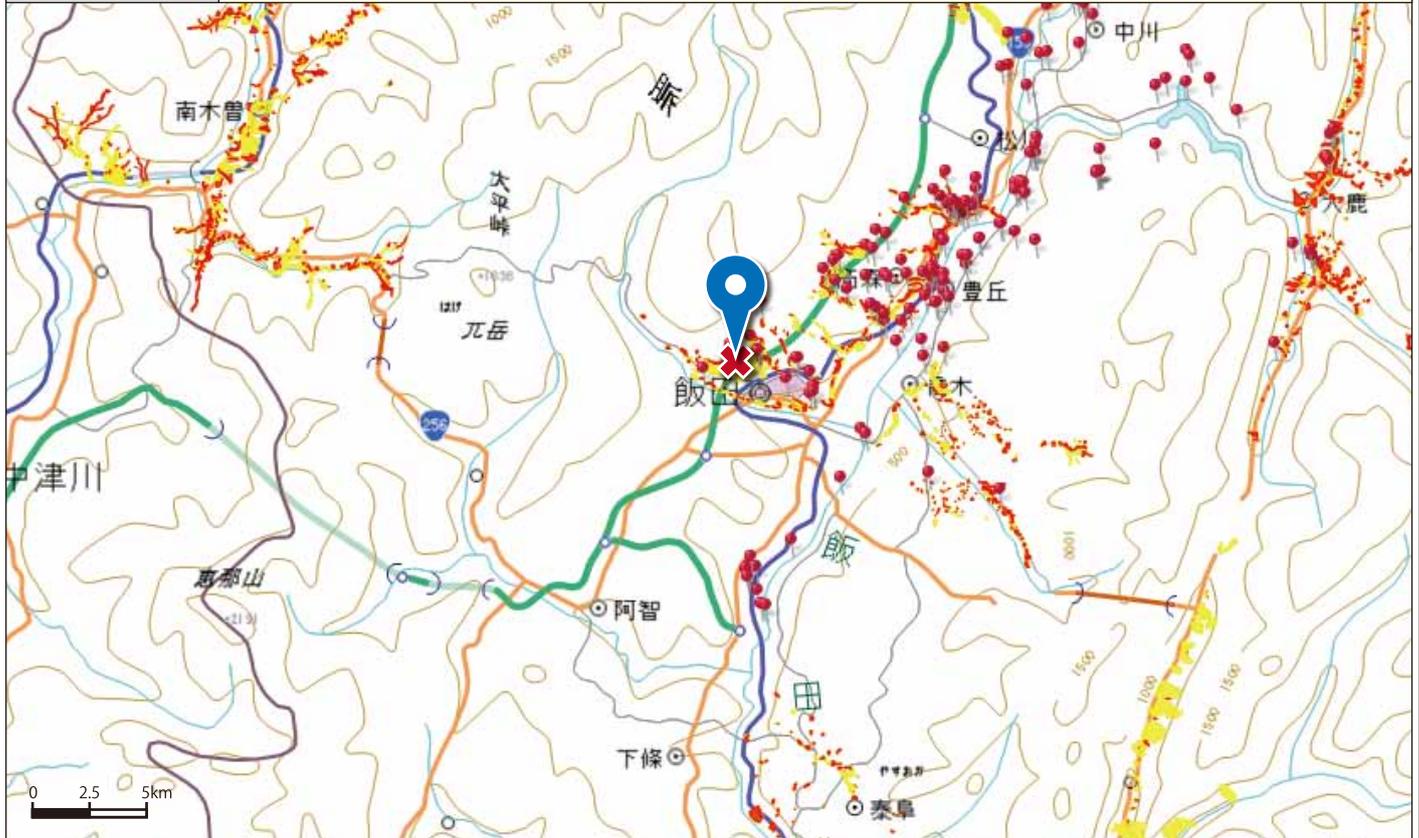
山津波よる土石流が押し寄せた阿弥陀沢川

出典	「語り継ぐ災害の記録」p.5/「濁流の子」p.63		
備考			

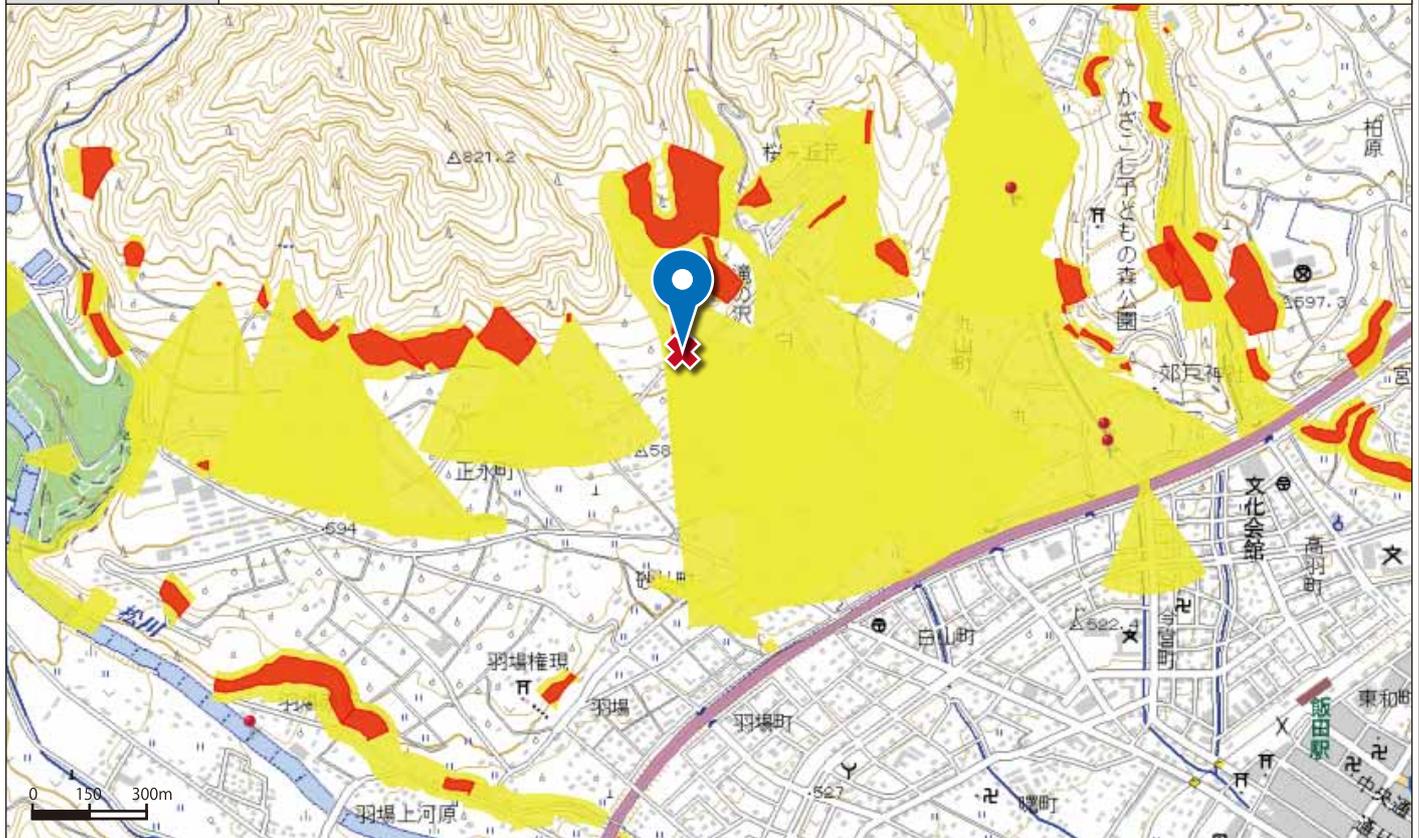
No.	19-5-1	場所	飯田市 阿弥陀沢川	緯度	35.526856
-----	--------	----	-----------	----	-----------

名称	山津波で押し出した土石流	経度	137.805237
----	--------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。